



道徳だより

令和3年5月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～



先月、保護者の皆様からの心に残った出来事やエピソードを頂戴しました。今回は、いくつか紹介させていただきたいと思います。また、道徳だより5月号では、6年生の授業の感想をまとめましたので、御家族で話のあらすじと同じ場面を思い浮かべながら、読んでいただければと思います。

今年度から歩いて下校することになった息子。初めて歩いて下校する日はお兄ちゃんといっしょでした。家の2階から2人が帰って来るのを待っていると、家の前の横断歩道で止まっていた。青信号になると曲がってこようとする車がいたので、2人は横断歩道を渡らず待っていました。しかし、車の運転手さんが渡らせてくれたようで、2人は無事渡りました。渡った後、2人が運転手さんに向かって深々とお辞儀をしていました。渡る前にもしていましたが、教えていないのに、そのような行動が取れるようになったことに、とても感動してうれしくなりました。その後もお兄ちゃんの行動をよく真似している息子です。
(2年1組 ほしの つばさ さ)

新学期になり、初めての一週間の金曜日。息子が「ただいま～、一週間おつかれさま。」と、一輪のポピーをくれました。帰りの雑草畑で咲いていたので、取ってきたそうです。今週から私も仕事で新しく慣れない部署での勤務だったので「とにかく一週間乗り切ろう。」とお互いに励ましながらの一週間だったため、とても心に染みしました。口ごたえばかりの小4年男子ですが、優しい所もあるのだと、ほっとしました。
(4年2組 阿部 葵さ)

息子と2人で買い物に行った時、前にいた男性は左手が不自由な方でした。私たちがお会計をしていると、その男性は袋詰めをする所だったのですが、袋がなかなか開けられずにいたので、息子に「あのおじさん袋開けづらそうだね」と言ったところ、その男性の所に行き、袋を開けて詰めるまでをしてあげていました。私の一言のアドバイスがあったときは言え、自ら助けに行くという行動に驚きと感動を覚えました。
(上里東小 匿名)

<6年生の授業より>

「言葉のおくりもの」～友情、信頼～



★「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、

異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと」

●お話の内容●

「一郎は、すみ子と仲のよいところをたかしに見られ、からかわれたり、周りに言いふらされたりするのを嫌がり、すみ子をわざとさげようとする。ちいさなことにこだわらない明るい性格のすみ子は、たかしのリレーでの失敗を許し、一郎の誕生日には、すばらしい「言葉のおくりもの」をする。

★一郎の誕生日に「言葉のおくりもの」をした。拍手が起こったとき、どんな思いになったでしょう。

- (一郎) ・前は、たかしにからかわれたけれど、今は、みんなに拍手してもらえて、とてもうれしい。
- ・すみ子に悪い態度をとってしまったのに、ぼくに「いい言葉」を言ってくれた。あたってゴメン。
- ・すみ子は、自分の気持ちを入れながら、ぼくのことをほめてくれた。その上拍手まで起こった。うれしい。

- (たかし) ・一郎、からかったりしてゴメン。お誕生日おめでとう。これからも仲良くしてね。
- ・からかわなで、いつもやさしくしていればよかった。反省。はずかしい。
- ・これからは、人の気持ちを考えて発しよう。2人にあやまろう。

★いいクラスになるには・・・

- キラキラ言葉をたくさん発しよう！
- みんなでほめ合い、助け合おう！
- 感謝しよう！
- 相手が気持ちよくなる言葉を発しよう！
- プラスになる言葉を発しよう！
- 笑顔でいよう！

